

熊本大学大学院自然科学研究科(博士前期課程)機械システム工学専攻
熊本大学大学院自然科学研究科(博士後期課程)産業創造工学専攻
先端機械システム講座

学位論文審査基準

Evaluation Criteria for Theses in Department of Advanced Mechanical Systems, Field of Advanced Technology, Graduate School of Science and Technology

学位審査に当たっては、学位申請者が本学及び大学院自然科学研究科産業創造工学専攻先端機械システム講座の定める学位授与の方針を満たしていることを前提とする。また、学位申請者が学術研究における倫理性を有していることを条件とする。

As a prior condition to apply for a diploma, a candidate must satisfy all the requirements for the degree that are specified by the university and the Department of Advanced Mechanical Systems, Field of Advanced Technology, Graduate School of Science and Technology. A candidate is required to conduct his/her scientific research in accordance with ethical standards.

博士前期課程 学位論文審査基準

Evaluation Criteria for Master's Thesis

次の事項を全て満たしていること。

All of the following requirements must be satisfied.

1. 課題設定の明確化 (Definition of Issues)

明確な問題意識とそれを解決すべく研究の意義および必要性が述べられていること。

Accurate awareness of the issues as well as the purpose and necessity of the research to solve the issues must be mentioned in the thesis.

2. 先行研究・資料の取扱いの適切性 (Proper Treatment of Preceding Studies and Data)

当該分野の先行研究・資料の把握と言及に加え、それを踏まえた研究の位置づけがはっきりしていること。

Previous studies and data in the relevant research filed and positioning of this study in the field must be mentioned in the thesis with clear and correct understanding of them.

3. 研究方法の妥当性 (Appropriateness of Research Method)

研究の目的に適した研究方法が用いられていること。

Proper methods for attaining the research purpose must be used.

4. 論証方法や結論の妥当性と意義 (Appropriateness and Significance of Demonstrational Process and Conclusion)

問題設定、分析、結果、考察までの論旨が明確でありかつ一貫していること。

The point of an argument of the thesis including the research subject, analyses, results, and discussion must be consistent and clear.

5. 論文構成・表現・表記法の適切性 (Appropriateness of Construction, Expression and Notation of Thesis)

学術論文としての語句の使い方や文章表現が適切であること。

Appropriate expressions must be used for the thesis as an academic paper.

6. 学術的または社会的な貢献 (Contribution to Academia or Society)

学術的に一定の新規性または独創性があるか、または社会の要請に答える可能性を持っていること。

The thesis must include the contents that show originality, creativity, or possibility of meeting social demands.

博士後期課程 学位論文審査基準

Evaluation Criteria for Doctoral Thesis

次の事項を全て満たしていること。

All of the following requirements must be satisfied.

1. 課題設定の明確化 (Definition of Issues)

明確な問題意識とそれを解決すべく研究の意義および必要性が述べられていること。

Accurate awareness of the issues as well as the purpose and necessity of the research to solve the issues must be mentioned in the thesis.

2. 先行研究・資料の取扱いの適切性 (Proper Treatment of Preceding Studies and Data)

当該分野の先行研究・資料の把握と言及に加え、それを踏まえた研究の位置づけがはっきりしていること。

Previous studies and data in the relevant research filed and positioning of this study in the field must be mentioned in the thesis with clear and correct understanding of them.

3. 研究方法の妥当性 (Appropriateness of Research Method)

研究の目的に適した研究方法が用いられていること。

Proper methods for attaining the research purpose must be used.

4. 論証方法や結論の妥当性と意義 (Appropriateness and Significance of Demonstrational Process and Conclusion)

問題設定、分析、結果、考察までの論旨が明確でありかつ一貫していること。

The point of an argument of the thesis including the research subject, analyses, results, and discussion must be consistent and clear.

5. 論文構成・表現・表記法の適切性 (Appropriateness of Construction, Expression and Notation of Thesis)

学術論文としての語句の使い方や文章表現が適切であること。

Appropriate expressions must be used for the thesis as an academic paper.

6. 学術的または社会的な貢献 (Contribution to Academia or Society)

学術的に新規性または独創性があるか、または社会の要請に答える可能性を持っていること。

The thesis must consist of the contents that show originality, creativity, or possibility of meeting social demands.

熊本大学大学院自然科学研究科産業創造工学専攻先端機械システム講座 「学位授与の方針」

博士前期課程(機械システム工学専攻)

1. 学位授与の要件

当該課程に2年以上在学すること。ただし、優れた研究業績をあげた者は、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。所定の単位（必修8単位、選択23単位以上、合計31単位以上）を修得すること。

ただし、選択科目については、専門科目から22単位以上を修得し、かつ、各コースのコース科目12単位以上を取らなければならない。必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。

学位審査は、所定の期日までに提出された修士論文及び口頭発表の結果に基づき、主査1名、副査2名以上により構成される審査委員会により行われ、その報告を受けて本研究科教授会での審議によって最終判定される。

2. 修得すべき知識・能力

1. 高度な専門的知識・技能及び研究力

- ・自ら思考し問題を解決できる能力を修得している。
- ・高度な学術研究の中核として最先端の学術研究を推し進める能力を修得している。

- ・世界をリードする最先端の学術研究を推進する能力を修得している。
2. **学際的領域を理解できる深奥な教養力**
 - ・機械システム全般に関する広範な知識を修得している。
 - ・実学に即した学術研究を推し進め、研究成果を社会還元することができる能力を修得している。
 3. **グローバルな視野と行動力**
 - ・研究成果を国際的な学会で発表できるプレゼンテーション能力を修得している。
 - ・国際的な場で人的交流し、学術の会話ができるコミュニケーション能力を修得している。
 4. **地域社会を牽引するリーダー力**
 - ・産業界との協力や共同研究を行うことができる、社会人としてのコミュニケーション力を修得している。

博士後期課程

1. 学位授与の要件

当該課程の標準修業年限3年以上在学し、12単位以上（全専攻必修科目「プロジェクトゼミナール」を含め12単位以上）を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること。

ただし、在学期間については、優れた研究業績をあげた者は、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。最終試験は提出された学位論文草稿による予備検討の結果、学位申請論文として認められた学位論文を主として筆記または口頭により行われる。

学位審査は、主査1名、副査2名以上により構成される審査委員会により行われ、その報告を受けて本研究科教授会での審議によって最終判定される。

2. 修得すべき知識・能力

1. 高度な専門的知識・技能及び研究力

- ・先端的な熱・流体・材料の力学と機械設計・精密加工・機械製作技術などについて、幅広い知識を修得している。
- ・高度化した機械システムに関する問題解決能力、深い洞察力と探求心を修得している。

2. 学際的領域を理解できる深奥な教養力

- ・他の専攻・講座との連携をはかり、先端・広域領域の研究プロジェクトへ発展させる能力を有している。

3. グローバルな視野と行動力

- ・課題・演習・プレゼンテーションを通じ、英語によるコミュニケーションができる能力を修得している。

4. 地域社会を牽引するリーダー力

- ・産業界との情報交換、引いては共同研究ができる関係を常に構築し、基礎研究にとどまらず実用化を目指した研究を行い、産業界に自らアピールできる能力を有している。